

平成27年 町長年頭所感

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、多くの町民の皆様、それを支える町職員や関係各位の力で、数々の大きな案件を進めてきた年でした。ごみの戸別収集・資源ステーションの導入とごみ処理に関するパートナーシップの模索、第四次総合計画の策定、消防指令の共同通信化、保育園の新設事業、南郷地区活性化の初動、小学校全校へのエアコン設置、全町街路灯のLED化など多々あります。いずれも着実な事業の進展が図れておりますが、あらためまして町政へのご協力を深く感謝申し上げます。

さて、葉山町は本年1月1日をもって、町制施行90周年を迎えました。三浦半島では横須賀市に次いで2番目に長い行政史となります。町制施行記念事業の一つとして、町民の有識者の方々と町との協働により2年の編集作業を経てまとめ上げた葉山町史「葉山町の歴史とくらし」が発刊の運びとなり、町の歴史を振り返る貴重な財産となりました。今後、年間を通じてさまざまな記念事業を企画推進してまいります。

そして、年度の替わる4月からは役場組織を改革いたします。政策財政部の設置がその一つです。政策財政部は内外、全体を見て企画し、事業部の事業遂行を情報、ソフト、お金の面から支援する部署になります。組織運営、行政経営の頭ともなり、情報の充実、現場との連携を図ってまいります。また、1階のフロアを、来庁する皆様が分かりやすいデザインに変えたり、各課に協働担当を設けて、さらに町民の皆様に活躍してもらえよう体制整備を図ったりもしてまいります。町民目線で共にある役場にご期待ください。

また、4月からは政策重点を「健康」とします。神奈川県健康寿命を伸ばそうという「未病を治すかながわ宣言」にも関連し、健康をテーマに各部課の取り組みの優先順位付けや新たな取り組みを見出し、実行していきます。医療科学から見た食や運動による身体の健康の他に、社会参加や自己実現による心の健康、葉山町の社会の健康も増進を図ってまいりたいと考えています。

同じく4月からは第4次総合計画もスタートします。10年後に迎える100周年がさらなる希望に満ちたものとなるよう、新規総合計画に沿って新たな目標を目指してまいります。本年もなにとぞ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。